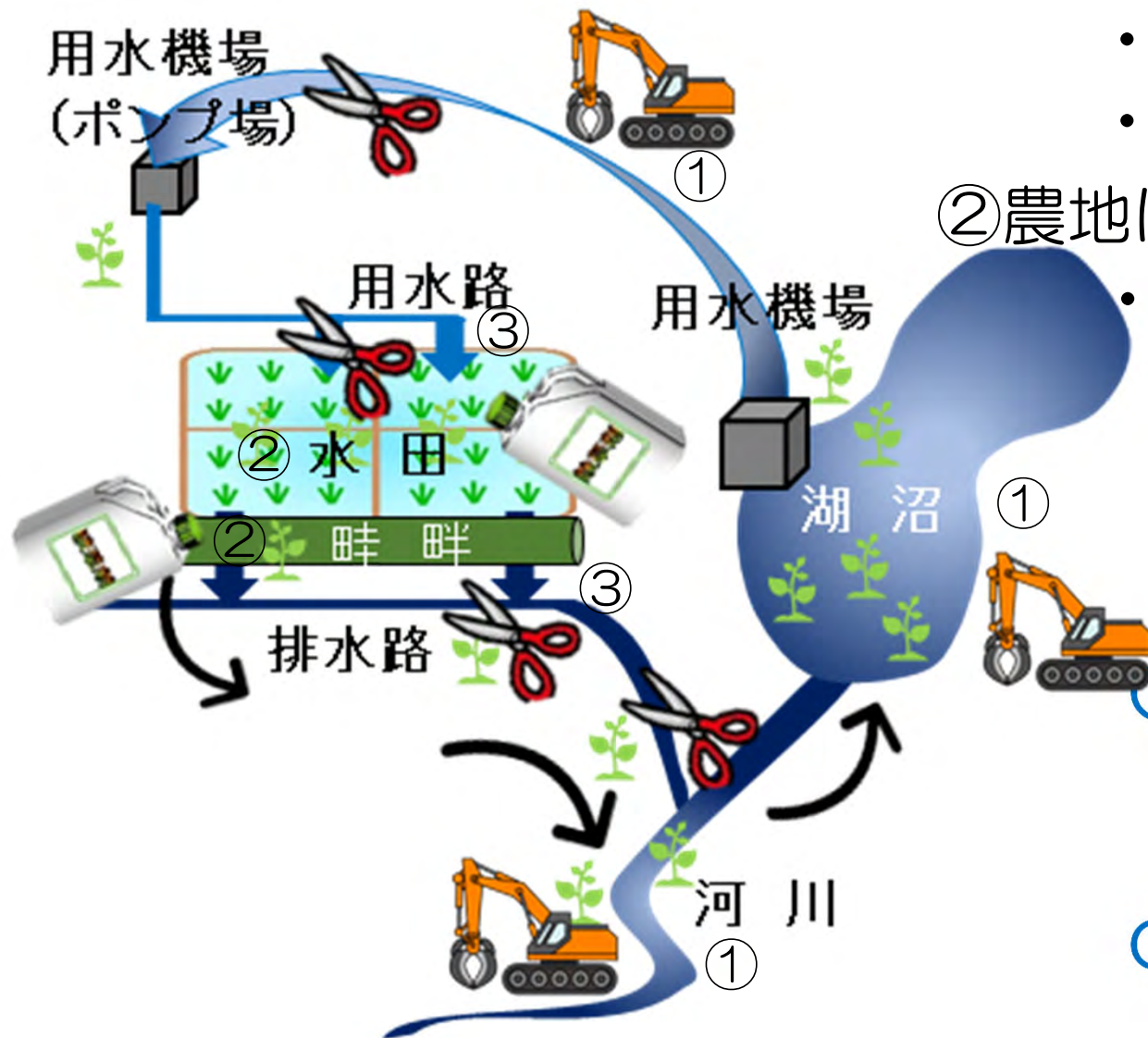


拡散を断ち切り、水利施設への影響軽減



①河川や湖沼の群落駆除

- ・建設機械や作業船を用いた除去
- ・ジェット水流による除去
- ・遮光シートによる群落抑制

②農地における防除・低密度管理

- ・除草剤による体系防除

- ・水田への侵入防止
- ・水田からの流出防止

○流域内の水域（水源）と水路・農地を一体的に管理できる体制の構築

○流域内で優先的に駆除すべき箇所を選定

①河川や湖沼の群落駆除

建設機械や作業船を用いた除去



集材用のスイングヤーダによる除去
(琵琶湖博物館 中井克樹氏提供)



作業船を用いた沖合からの群落除去

- 除去できる群落面積：約300m²/日
- 除去後、残存断片や漂着断片によるリバウンド発生も。
→ 跡地の定期的な巡回・監視、再除去が必要。

①河川や湖沼の群落駆除

ジェット水流による除去（小規模群落）



消防用ノズルの噴射による地下部掘削



下流側で洗い出された断片を回収



- 労力例：約25m²の群落除去に6人×5時間
- 完全除去には複数回の作業が必要
- 土性によって適・不適がある

砂礫質：○、泥質：×

①河川や湖沼の群落駆除

遮光シートによる群落抑制



厚さ0.5mmのゴムシート（遮光率100%）による
水位変動下のため池法面における群落抑制

遮光率99.85%下の抑制状況

ナガエツルノゲイトウの場合

- 遮光率99.85%では再生。100%遮光が必要。
- 完全駆除には1.5年以上（内藤2015）かかる。

①河川や湖沼の群落駆除

遮光シートによる群落抑制（排水路底面への敷設例）



- ・労力：3.6×5.4mの防水シート敷設に3人×2時間（敷設前の植生除去やシート流出防止ロープの固定含む）

①河川や湖沼の群落駆除

遮光シートによる群落抑制（排水路底面への敷設例）

敷設125日後



ガスによる浮きがみられたが、ナガエツルノゲイトウは確認できない。



シートを敷設していない区間にはナガエツルノゲイトウが繁茂。

①河川や湖沼の群落駆除

※人力による除去



市民、大学生を中心としたボランティアが参加する駆除事例（千葉県桑納川）
2016年は年5回、のべ281名が参加し、河川内の群落は大幅に縮小。

- ・市民参加型だと啓発も兼ねられる。
- ・イベント的で除去ムラも。 → 刈り取ることが目的化？
- ・コロナ禍の影響で活動が各地で縮小 → 持続性に課題